

# Relay Interview!

女性研究者によるリレーインタビュー

## テーマ：女性研究者のリーダー育成

大阪市立大学 学長特別補佐、工学研究科 教授  
鍋島 美奈子



鍋島 美奈子教授



Makerspaceでのグループワークの様子

### Question 01 女性研究者のリーダー像とは？

教授になった途端、従来の研究に加え、新たに学内運営、事務、対外的な関係も出てきて、時間をどう配分するかが課題です。そこで、研究、教育、学内運営、事務仕事、学会関係などカテゴリごとに理想像とか具体的なロールモデルを意識するようにしています。

私の目指すリーダー像のお一人なのですが、本学工学研究科とMOUを締結しているウイスコンシン大学マディソン校(UW-Madison)の、エイミー・ウエント工学部教授がご自身の研究だけでなく、女性研究者の地位向上にも積極的にに関わり、「バランス良く」様々な活動に参加されていることに刺激と影響を受けました。

### Question 02 女性研究者のリーダー育成のためのご活動は？

工学研究科では2019年に理系学生を対象にした研修プログラムを始めました。英語のトレーニングやUW-Madisonのイノベーション施設Makerspaceにおけるグループワーク、ラボ見学を組み込んだ内容で、海外の研究者像を身近にすることを目的としています。学生が国際会議で賞を取るなど、参加した女性を含む学生が大きく成長しており、成果を上げています。

### Question 03 女性研究者へのメッセージをお願いします。

気持ちの乗らない仕事や依頼があっても、「引き受けたら楽しんで」とポジティブな心を持ち対応するようにしています。結果的に、人脈やネットワークが広がり、研究、教育にも生かされます。ワーク・ライフ・バランスは、ライフステージごとに変化し、長いキャリアのトータルで見たときにバランスが取れたらよいと考えています。

# News Letter

VOL.9

大阪市立大学 大阪教育大学 和歌山大学 積水ハウス株式会社

## 2021年度 連携型共同研究助成採択課題が 決定しました!

連携型共同研究助成とは…

連携機関(大阪市立大学・大阪教育大学・和歌山大学・積水ハウス株式会社)における女性研究者の研究力の向上や南近畿の研究ネットワークの拡大を図るため、女性研究者PI(共同研究代表者)による共同研究に対して、研究費の助成を実施しています。

今年度は16件の課題が採択されました。(大阪市立大学…8件 大阪教育大学…5件 和歌山大学…2件 積水ハウス株式会社…1件)

代表者(所属 職名)	研究課題	共同研究者(所属 職名)
<b>大阪市立大学</b> 吉田 朋子 人工光合成研究センター 教授	人工光合成光触媒高度設計のためのナノ粒子触媒新規合成法の構築	矢嶋 慎子 和歌山大学 システム工学部 教授 門 晋平 和歌山大学 システム工学部 助教
横山 久代 都市健康・スポーツ研究センター 准教授	多面的アセスメントによる障がい者アスリートの栄養戦略の確立	本宮 暢子 大阪市立大学 生活科学研究科 特任教授 出口 美輪子 大阪市立大学 生活科学研究科 特任助教 鉄口 宗弘 大阪教育大学 教育学部 教授
岩崎 昌子 理学研究科 准教授	機械学習を用いた物理学実験用機器制御技術の開発	深澤 優子 大阪教育大学 教育学部 准教授 住濱 水希 岐阜大学 教育学部 准教授/大阪大学 核物理研究センター特任准教授 谷口 七重 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 助教
小関 珠音 都市経営研究科 准教授	工業地域の再生と「豊穡化の経済」一場所の記憶、ツーリズム、コミュニティ、エコシステム	藤田 和史 和歌山大学 経済学部 准教授 立見 淳哉 大阪市立大学 経営学研究科 教授
奥野 久美子 文学研究科 准教授	講談資料コレクションの収蔵とデジタル整備 一 講談師・初代信玄軒園玉日記の翻刻校注を 出発点として一	橋本 唯子 和歌山大学 クロスカル教育機構 准教授/図書館副館長 久堀 裕朗 大阪市立大学 文学研究科 教授 佐賀朝 大阪市立大学 文学研究科 教授 菅原 真弓 大阪市立大学 文学研究科 教授 高橋 圭一 大阪大谷大学 文学部 教授 西田 正宏 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科/上方文化研究センター 教授
早見 直美 生活科学研究科 講師	地域連携教育ネットワークによる都市部小中学生の主体的な健康行動を促す 食育プログラムの実施と評価	福村 智恵 大阪市立大学 生活科学研究科 准教授 西川 章江 大阪教育大学 教育学部 准教授 横山 久代 大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター 准教授 鶴川 重和 大阪市立大学 生活科学研究科 准教授
藤井 律子 人工光合成研究センター 准教授	海洋性緑藻ミルの光合成器官における強光馴化の分子メカニズム	荒木 良一 和歌山大学 教育学部 准教授 竹田 恵美 大阪府立大学 理学系研究科 准教授
三枝 栄子 理学研究科 講師	低エネルギー励起と高効率発光を実現する新規ランタノイド錯体の設計と合成	林 聡子 和歌山大学 システム工学部 准教授
<b>大阪教育大学</b> 渡邊 美香 教育学部 准教授	図画工作科・美術科教材のWEBモデルの構築 一 美術館鑑賞教材をモデルとして一	青木 宏子 大阪教育大学 教育学部 非常勤講師 高橋 暁生 積水ハウス株式会社 ESG 経営推進本部 美術館事業室 絹谷幸二 天空美術館 研究員
井奥 加奈 教育学部 教授	食物学基礎実験の一環としてのオンライン実験と教育効果に関する研究	小島 明子 大阪市立大学 生活科学研究科 准教授 福田 ひとみ 帝塚山学院大学 人間科学部 教授 松村 羊子 畿央大学 健康科学部 教授
岡崎 純子 教育学部 教授	広域分布種における交雑ゾーンでの遺伝的多様性と形態変異の解析	植松 千代美 大阪市立大学 理学研究科 准教授
出野 文莉 教育学部 准教授	オンラインによる幼稚園児・小学生の漢字教材の提案	大岩本 幸次 大阪市立大学 文学研究科 教授
田村 知子 連合教職実践研究科 教授	Withコロナのカリキュラムマネジメントの探索	島田 希 大阪市立大学 文学研究科 准教授 田中 満公子 大阪教育大学 連合教職実践研究科 特任教授 岡田 和子 大阪教育大学 連合教職実践研究科 特任教授 佃 千春 大阪教育大学 学務部 教務課 特命職員 田中 真秀 大阪教育大学 連合教職実践研究科 特任准教授 木原 俊行 大阪教育大学 連合教職実践研究科 教授
<b>和歌山大学</b> 秋元 郁子 システム工学部 准教授	先端ESR装置を活用した半導体材料における光キャリアおよび光誘起スピンの研究	松岡 秀人 大阪市立大学 理学研究科/研究基盤共用センター特任准教授
上野 智子 教育学部 准教授	音楽に付随するエンカレッジ機能を援用した「自立活動」の教材開発	菅 道子 和歌山大学 教育学部 教授 山崎 由可里 和歌山大学 教育学部 教授 沼田 里衣 大阪市立大学 文学研究科 准教授
<b>積水ハウス株式会社</b> 服部 正子 住生活研究所 課長	住まいにおける子どものオンライン学習スペースの研究	杉田 菜穂 大阪市立大学 経済学研究科 准教授 木野村 昭彦 積水ハウス株式会社 住生活研究所 課長 山崎 美波 積水ハウス株式会社 住生活研究所 社員 津江 大志 積水ハウス株式会社 住生活研究所 社員

## Event Schedule

10月 ~ 11/30 tue

### 介護と仕事の両立 オンデマンドセミナー

講師：湯浅 美佐子氏(大阪市立大学 女性研究者支援室 介護アドバイザー) オンデマンド配信  
主催：大阪市立大学、大阪教育大学、和歌山大学

11月 11 thu

### ウィズコロナの時代を生きる上で大切なこと「コロナ禍の子どもと女性の支援」

講師：日下 紀子氏(ノートルダム清心女子大学准教授) オンライン配信 時間：14:30~16:00  
主催：奈良女子大学 共催：南近畿女性研究者支援ネットワーク

24 wed · 26 fri

### 英語プレゼンテーションセミナー

講師：John Mukts氏(ILC国際語学センター 企業研修プログラム 主任教師) オンライン配信 時間：両日とも13:30~15:00  
主催：大阪市立大学 共催：大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社、南近畿女性研究者支援ネットワーク

1月 14 fri

### 改めて女性活躍を考える「若草プロジェクトの活動から見えるもの」

講師：村木 厚子氏(厚生労働事務次官、若草プロジェクト代表呼びかけ人) オンライン/オンデマンド配信 時間：14:00~15:30  
主催：奈良女子大学 共催：南近畿女性研究者支援ネットワーク

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現  
イニシアティブ(牽引型)



HP: <https://diversity-oows.jp>

### 連携機関

代表機関 公立大学法人大阪 大阪市立大学  
共同実施機関 国立大学法人 大阪教育大学  
国立大学法人 和歌山大学  
積水ハウス株式会社

### ニュースレターに関するお問い合わせ

大阪市立大学女性研究者支援室  
OCU Support Office for Female Researchers

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
Tel: 06-6605-3661  
E-mail: [ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp](mailto:ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp)  
HP: <http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/>

発行：2021年10月



## 01

### 研究力向上のための 外部資金獲得セミナー

2021年6月29日(火) オンライン開催

講師：ロバスト・ジャパン株式会社 矢野 覚士 (理学博士)

大阪市立大学、大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社が毎年共同開催しており、今回で4回目。講師の矢野氏に科研費の現状や申請について具体例やワークを交えながら講演いただきました。

これは、文部科学省補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」関連事業として開催しているもので、オンライン方式としては昨年に続き2回目です。セミナー部分120分、質疑応答部分20分で進行されました。リアルタイム参加者は71名で、その後の個別面談希望者は22名となりました。

寄せられた37件のアンケート回答からは「科研費応募経験無し、採択無し」が37%である中、「とても参考・参考になった」が92%と科研費獲得への熱意が示された一方、「審査結果確認票」の分析や文章作成の対策については切り込んだ回答が寄せられました。



## 02

### ダイバーシティ推進セミナー

2021年8月3日(火)～30日(月) オンライン / オンデマンド開催

講師：和歌山大学 副学長 添田 久美子

大阪教育大学主催のダイバーシティ推進セミナーを実施しました。講師の和歌山大学の添田氏は、中央教育審議会ワーキンググループ等の委員を歴任し、教員養成評価機構の評価委員及び専門アドバイザーとしても活躍、和歌山大学ではダイバーシティ・評価担当副学長を経て、現在、評価・質保証担当副学長の重責を担っておられます。

セミナーでは、教員は女性が多いにも関わらず、校長は極端に女性が少なくなる現実を例に挙げ、課題を指摘されました。女性教員が管理職になりたくない理由として「自分には力量がない」「育児・介護との両立が難しい」という意見が多いこと、小中学生の児童生徒が「男性の方がたくましい管理職に向いている」「責任をとれるのは男性」といったアンコンシャスバイアス(無意識・無自覚な偏見、固定的性別イメージ)を持って先生を見ているなどの各種調査結果が紹介されました。添田氏は、こうしたアンコンシャスバイアスを払拭するためには、組織として多様な価値を認めることを可視化し、制度や評価基準として定め、多様な働き方や役割を含めた評価として尺度そのものも見直す必要があると強調されました。最後に、「このような視点や取組により、誰かの『物まね』をしなければならない社会ではなく、誰もが自然体で生きられる社会が構築され、誰もがどう生きていくかを学び続けていくことが大切である」と結びました。



## 03

### 第8回澤柳政太郎記念 東北大学男女共同参画賞受賞

2021年8月20日(金) オンライン開催

大阪市立大学女性研究者支援室は、第8回澤柳政太郎記念 東北大学男女共同参画賞を受賞しました。

同支援室は2017年「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」事業に採択されて以降、この代表機関として女性研究者支援に力を入れ、学内の男女共同参画推進に係わる実績を積み重ねてきました。さらにその経験を一大学に留めず、南近畿圏の複数の大学や民間企業等との連携による波及により、広域で生産的な産学官地域連携支援体制を展開している点が、今後のモデルとして評価されました。

## 04

### 第1回 南近畿女性研究者支援ネットワーク会議開催

2021年8月5日(木) オンライン開催

女性研究者の活躍・発展のために、一層強力かつ広域に支援することを目的とする組織、南近畿女性研究者支援ネットワーク会議を開催しました。本補助事業の一環として、南近畿圏女性研究者の活躍・共同研究を拡大進展させ「南近畿圏共同研究プラットフォーム」を構築、これをベースに2019年12月に「南近畿女性研究者支援ネットワーク」を発足させ、南近畿圏の11大学、企業、団体が参画し、共同研究拡大・各種両立支援制度の普及や女性研究者の活躍推進を先導してきました。

この度、大阪商工会議所の参画が決まり、現在「9大学、1企業、1特定非営利活動法人、1商工会議所」の12団体になりました。

大阪商工会議所(人材開発部)は、2016年から関西の企業等で活躍し、若手のロールモデルとなる女性リーダー「大阪サクヤヒメ表彰」(これまで227名)を表彰した実績があり、シンポジウム等の共同実施や共同研究が期待されています。

#### 構成団体 (順不同)

大阪市立大学 / 大阪教育大学 / 和歌山大学 / 積水ハウス株式会社 / 大阪府立大学 / 畿央大学 / 塚本山大学 / 奈良県立大学 / 奈良女子大学 / 奈良先端科学技術大学院大学 / 南大阪地域大学コンソーシアム / 大阪商工会議所

#### 奈良女子大学 事例報告

### 附属病院をもたない機関における「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築

奈良女子大学 副学長 安田 恵子

子どもの病気が急に起こることが多く、仕事と育児の両立における大きな課題になっています。今回は、奈良女子大学を代表機関とする「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」事業(2019年度採択)で取組んできた「ならっこ病児・病後児保育支援システム」についてご紹介します。この保育支援システムは奈良女子大学ですでに運営している訪問型子育て支援システム「ならっこネット」の延長線上に構築した、共助サポーターによる訪問型病時・病後児保育支援システムです。小児科医、看護師、保育士が関わったワーキンググループを結成し、医療的なアドバイスをいただきながら、行政や医師会との連携を図り、システム構築を目指しました。この保育システムでは安心、安全、信頼を大事にしています。病時・病後児保育講習を受講したサポーターが保育を担当します(安心)。かかりつけ医、利用者、サポーターの連携を密にし、緊急時には看護師が電話対応をいたします(安全)。通常保育でいつも子どもの保育を担当しているサポーターが、自宅において、1対1で子どもに対応します(信頼)。2021年4月10日から病後児保育の試験運用を開始しています。

#### 奈良先端科学技術大学院大学 事例報告

### 男女共同参画の取組事例

奈良先端科学技術大学院大学 男女共同参画室 特命准教授 二階堂 祐子

本学の男女共同参画室は2009年に設置され、今年で11年目を迎えました。昨年10月には厚生労働省の「くるみん」認定を受けるなど、働きやすい研究環境整備のための取組を進めています。

今回は、男女共同参画の取組事例のうち、妊娠中・産休中・育休中・小学校3年生までの子どもを養育中の裁量労働制研究者のための「研究支援員の配置と役務委託費助成制度」、すべての教職員が雇用契約期間中にいつでも育休を取得できるよう就業規則を改定し、取得の壁となっていた労使協定を廃止した「いつでも誰でも育休取得のできる規程改正」、そして優秀な女性教員の採用促進と新規採用女性教員の研究開始を支援するための「スタートアップ研究費(女性限定)」及び新規採用女性教員を対象とした「メンター配置制度」について報告しました。報告後は参加者より各取組を実施するにあたっての学内調整や予算に関する質問を受けました。

この他にも、研究者になったきっかけや経緯、日々のワークライフバランス、研究環境整備に対する考え等をインタビューした連載「それぞれの働き方」をウェブサイトにて公開し、取組の周知を図っています。

